

効果的な塾の使い方1

2024.5.1(水)

学習は自学自修が原則

学校の授業の整理と定着学習，あるいは受験対策の学習は，
自分で計画を立てて，自分で進める

というのが原則です。

原則というのは，これを無視すると，目的は必ず達成されないというルールのことです。

この原則に則って学習している人が，学校で上位を占め，希望する上位の学校へ進学しているのです。

塾について，塾で勉強を習ったから成績が上がったとか，志望校に合格できたというのはあやまりです。いくら塾で教えてもらっても，自分で勉強しなければ成績はあがりませんし，志望校へは合格できません。結果は、本人の努力以外のなにものでもありません。

そういう意味で，塾が「～校**名合格」などとひけらかすのは不遜なことのようには思います。上位校合格は，塾のせいではなく，本人の努力の結果なのです。

自主学習における塾の意味

では，塾は自主学習においてどのような意味をもつのでしょうか。
他の塾の詳しい指導内容はわかりませんので，数専ゼミの場合を説明します。

一生懸命に勉強しているのだけれども伸びない，ということは普通に見られることです。自分だけと悩んでおられる生徒さんや保護者の方々がおられますが，ふつうの現象ですから，心配に及びません。ただ，問題なのは，それをほっておくことです。

伸びない原因を突き止めること

伸びないのには，必ず原因があります。

いくつかの原因についてはこのエッセーでも実例と対処法について紹介していますが，生徒本人はその原因を見つけることはかなり困難です。伸びないから，ただ，ただ，一生懸命に勉強しているだけです。しかし，本質的に，間違った考え方で問題を解いているものですから，100題練習しても101題目に同じ間違いをしてしまいます。

(実例：分数のたし算を仮分数になおして計算するなど。 → Link：| [Essay_074](#) |)

このような場合には，専門塾で習う必要がでます。

例えば，熱があるからといって市販薬ですませていたところ，なかなか熱が下がらないので，専

門医に診てもらったら、すぐ熱は下がったということはだれにでも1度くらいは経験していることでしょう。

同じことが、思考プロセスの“病気”にもいえます。

専門塾で習うと、誤った考え方が直り、易しく、速く、正確に解くことができるようになりますから、勉強すればするだけ成績は上がります。

最近の実例では、分数の方程式の計算方法で、誤った方法と合理的な方法について説明しております。→ Link: | [Essay_091](#) |)

文章題が解けない

これとは別に、ある単元の問題が全体的に解けないという症状があります。

とりわけ、方程式の文章題、その中でも、速さ、割合についての文章題を苦手としている生徒さんは多数派です。

「文章題が苦手な人は多いです」などということは、どの塾でも言えます。教育に素人の大学生アルバイト教師でさえも言えます。

専門塾と”ふつー”の塾の違いは、そのあとの“治療”技術です。つまり、教え方です。

例えば、数専ゼミの方程式と連立方程式の文章題の学習計画書をご覧ください。

ふつうは、速さや割合など、体系的＝系統的には指導してくれません。市販問題集を使って指導していることが原因です。

市販問題集は、速さなら数題、割合でも数題、恣意的に問題を選択して載せているだけ、解法の間に関連、つまりパターンの体系とそのつながり(系統性)などはなから考えて編集しているわけではありません。著者の能力ではなく、販売するときのコストとの関係で多くの問題を掲載できないのです。

体系的＝系統的に学ぶと…

そこへいくと、数専ゼミの教材は”オリジナル”プリントですので、その生徒さんに必要なある特定のパターンの問題を何題でも、体系的かつ系統的に作成して与えることができます。

体系的＝系統的というのは、その単元で習得する問題を順序ただしく全体の流れが分かるように配列されているということです。

これを前から解かせると、解ける問題と解けない問題が浮き上がってきます。(Essay_91で紹介した生徒さんの場合は、濃度の問題でも「食塩水+食塩」と「食塩水+水」の問題だけが解けないことを発見しています。)

浮き上がってきた”解けない問題”を「学力化学習法」によって狙い撃ちします。

【注】もちろん、方程式の文章題の個々の解法(量のしくみを“見える化”して解く解法)を習得することも前提となっておりますが…

短期間で苦手を一気に克服できます。つまり、文章題がある日、突然解けるようになるのです。最も効率的かつ効果的な学習といえます。後は、自主学習がどんどん結果を生んでいき、目に見える成果がでてきます。学習の好循環が始まります。

自分の力だけで、学習をどんどん先へ進めていくことができるようになります。新しく学習しているところは、並行して塾の教材を学習することでチェックしてもらえるし、間違った考え方をしているときはすぐに直してもらえるので、安心して自分で学習を先へ進めることができます。

実際の体系的＝系統的な「学習計画」とは

それでは、文章題を体系的＝系統的に学習できるように編集された数専ゼミの「学習計画書」を紹介しましょう。

少し長くなるので、次回で詳しく紹介します。

なお、方程式、連立方程式の数専ゼミの学習計画書を今すぐ見たいという方は、次のリンクをたどってください。

- 方程式 → Link : | [中学数学 MENU](#) | → 中学1年【3】方程式 [記録]
- 連立方程式 → Link : | [中学数学 MENU](#) | → 中学2年【2】連立方程式 [記録]

体系的＝系統的に学習できる数専ゼミの数学教室です

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp